

平成24年度第1回農林水産審議会(7月31日開催)での意見等

番号	意見の趣旨	基本計画素案への反映箇所		
		基本施策	主要事業	頁数及び「目指すべき方向性」
1	全国の自給率は39%から40%と聞いているが、TPPIに加入すれば13%になるということを経済等報で聞いている。県として、TPPIに加入した場合に、どういった施策で徳島県の農業を守っていくのか。	I 競争力ある力強い農業の実現	I-1 食料供給機能の強化による食料自給率の向上	P13 ①~③
2	魚は骨があるのが当たり前だと、パックで切り身になっているのが魚ではない、ということをもっと少し広めていただいて、取組みをしていただきたい。	I 競争力ある力強い農業の実現	I-3 食育の推進	P17 ①③
3	徳島県は野菜県、野菜の生産量が多いと聞く割に、野菜摂取量がワースト1であると聞く。産直市を展開しているが、認知度がついて定着してきたというのもあり売り上げは少しずつ伸びていると聞いている。息の長い施策が大事だなと感じている。	I 競争力ある力強い農業の実現	I-4 地産地消の推進	P19 ①②
4	食育推進の中で、学校における地産地消の拡大ということでH24目標60%、H23実績58%と書いているが、今後は、農産物、水産物、畜産物のそれぞれのパーセンテージで示していただけたら、より一層分かると思う。	I 競争力ある力強い農業の実現	I-4 地産地消の推進	P19 ①
5	異常気象で思わぬ時に野菜が水没してしまうので、排水対策の強化をお願いしたい。徳島県は野菜県なので、行政、連合会、生産者も一緒になって取り組んでいきたい。	I 競争力ある力強い農業の実現	I-6 優良な生産基盤の整備及び保全	P26 ①
6	農業の基盤整備は一時の機運に流されるのではなく、少しは傷みを負いながらも、常に手入れをちゃんとやっていかなければ、必要な時にすぐにはできないものなので、非常に厳しい状況を理解しているが、一丸となってご配慮いただきたい。	I 競争力ある力強い農業の実現	I-6 優良な生産基盤の整備及び保全	P26 ①
7	農大を卒業した学生で本当に就農されている方の人数を聞きたい。折角の大学なので、就農のパーセンテージを上げないと、もったいないと思う。新規就農には人・農地プランの手当もあるので、もっと活用して、本当に就農して下さるパーセンテージをも上げていただくような施策をしていただければと思う。	I 競争力ある力強い農業の実現	I-7 担い手の育成および確保	P29 ①②
8	23年度の実績内容として、アグリテクノスクールで482名の方が受講していただいているが、今後は内容を拡充していただき、担い手の育成につなげてほしい。そのやり方だが、一つは講座を増やしていただきたい。例えば、米を作る場合に、集中講座として1週間単位で1年間教えていただくなども必要ではないかと思う。一方で、アグリテクノスクールの周知もしていただきたい。県内でも定年退職者のための説明会は大手企業はやっていると思うが、その中で、アグリテクノスクールを紹介するとか、資料を提供するとか、広く周知をしていただけたら	I 競争力ある力強い農業の実現	I-7 担い手の育成および確保	P29 ③
9	農業後継者の育成が非常に重要でないか。農業後継者に出会いの場を作るといったことも必要なのではなかろうか。例えば、県の東京事務所、大阪事務所が婚活を支援する等、大阪や東京の女性が農業体験、交流を通じて徳島の農業を分かっていたかということも、将来的には必要なのではないか。	I 競争力ある力強い農業の実現	I-7 担い手の育成および確保	P29 ②
10	六次産業化について、人材育成という観点から、生産者が流通や加工を学べるようなものを充実していただきたい。来年か再来年、東京で農業経営大学ができ、次世代の人材育成をすると聞いているが、徳島からも積極的にそういったところに入っていただきたい。	I 競争力ある力強い農業の実現	I-7 担い手の育成および確保	P29 ③
11	安定的な供給として、皆伐の施行を重点的に行っていただきたい。シカの害も十分次の計画に考慮してほしい。	II 次世代林業の展開	II-1 林業及び木材産業の振興	P34 ①②

平成24年度第1回農林水産審議会(7月31日開催)での意見等

番号	意見の趣旨	基本計画素案への反映箇所		
		基本施策	主要事業	頁数及び「目指すべき方向性」
12	川下のほうから、建築材に寄与するという立場から言うと、今ひとつ縦の連絡、横の連絡が備わっていないように思う。設計の立場、流通の立場、中間の業者の立場の考え方がやはりバラバラという所がなかなか解消されていない。ここ数年建築が減るという中で、いわゆる生産した木材を使用するという仕組みを設けてほしい。使いたいけれど調整まではなかなかできない状況である。	Ⅱ 次世代林業の展開	Ⅱ-1 林業及び木材産業の振興	P34 ④⑤
13	徳島の木材の流通で、他県と比べて違うと感じているのは、大工さんが、材木屋さんを通さず、製材所から直接購入することが多いように思う。香川では、材木屋さんがコーディネートして、大工さんに届けていた。特にリフォームだと使う量が少ない上に、製材所もこれまでのように余裕がないため配達してくれなくなり、ますます県産材を使いにくい状況になっている。徳島は製品市場がそういう役割を担っている感じだが、少ない単位でも買いやすいような流通業界の問題点を改善することは、山側と使う側の橋渡しになり、県内の県産材利用促進には重要だと	Ⅱ 次世代林業の展開	Ⅱ-1 林業及び木材産業の振興	P34 ④⑤
14	シカの被害が大変で、植えても育たない状況になってきているので、特に個人の山がほとんどなので、そういうことができていくような方法を考えていただけたら。	Ⅱ 次世代林業の展開	Ⅱ-1 林業及び木材産業の振興	P34 ②
15	徳島県はほとんどが民有林ということで、安定的な木材供給を行うには、境界設定等の問題が多く出てくるので、民有林地域の境界設定についての考え方も中に入れていただきたい。	Ⅱ 次世代林業の展開	Ⅱ-2 優良な生産基盤の整備及び保全	P36 ②
16	伐採して搬出することだけに力を入れたら山林崩壊に繋がる可能性もあると思うので、循環できていくような施策を。	Ⅱ 次世代林業の展開	Ⅱ-4 環境に配慮した林業の推進	P40 ①～④
17	県からも援助いただいて、塩蔵わかめを大阪や京都とか、都会に配布するようなことをしていただけたらと思う。	Ⅲ 活力ある水産業の再生	Ⅲ-1 水産業の振興	P42 ①
18	鮮魚介類に関しては、店頭で見ると、売り上げは全体的に落ちていると感じる。京阪神への出荷も大切だが、県内での定着ということも、施策として考えていただけないかな、と感じている。	Ⅲ 活力ある水産業の再生	Ⅲ-1 水産業の振興	P42 ⑤ P43 ⑥
19	徳島県産はこんなにおいしいんですよ、こういった食材で使えますよといったアピールをしていったほうが、消費拡大に繋がるのではないかと。そういったことを施策として展開していけば、徳島県の自給率の向上も更に飛躍するのではないかと。	Ⅳ 新成長ビジネスの展開	Ⅳ-1 とくしまブランドの創出	P47 ②～⑤
20	東京から上の方には徳島県の知名度はどの商品に関しても低いと思う。魚食普及ということで、徳島県内のおいしさ、新しさ、安心安全をもっと知っていただくべきだと思う。	Ⅳ 新成長ビジネスの展開	Ⅳ-1 とくしまブランドの創出	P47 ⑤
21	徳島県内には脇町とか、点在する古民家で質の高いものが残っているが、民宿とかレストランをして、観光をかねて農林水産物をPRしたらいいのにと。	Ⅳ 新成長ビジネスの展開	Ⅳ-1 とくしまブランドの創出	P47 ⑤

平成24年度第1回農林水産審議会(7月31日開催)での意見等

番号	意見の趣旨	基本計画素案への反映箇所		
		基本施策	主要事業	頁数及び「目指すべき方向性」
22	首都圏を始めとして、関西も含めて、県外でのとくしまブランド協力店を認定して、それを発信するというツール事業をやっておられる気もするんですが、登録対象の拡大や登録店数などをもっと増やして欲しい。	IV 新成長ビジネスの展開	IV-1 とくしまブランドの創出	P47 ③
23	徳島県は、首都圏では、阿波踊り以外に何があるのか知らない人が多いと思うが、観光とセットで第一次産業についても知った方が、付加価値もつくと思うが、連携はどうなんでしょうか。	IV 新成長ビジネスの展開	IV-1 とくしまブランドの創出	P47 ⑤
24	水産物は、給食側からしたら加工や衛生面で高いリスクを背負っている。そういった中で、どのように子ども達の口に運んだらいいのか検証している。どのようにしたらもっと普及ができるか、教えていただけたらと思う。	IV 新成長ビジネスの展開	IV-2 農工商連携・6次産業化の推進	P50 ①②
25	安いだけでなく、値段が高くても、付加価値を付けて売れば、中国などには日本の商品がいいという市場がある。そういう中で、六次産業化について、県はどのように取り組んでいるのか。	IV 新成長ビジネスの展開	IV-2 農工商連携・6次産業化の推進	P50 ② P52 ①
26	海外の販路拡大のところで、徳島県が単独で行くよりも、四国なら四国でまとまっていたほうが、いいのではないかとと思うが。	IV 新成長ビジネスの展開	IV-3 海外への販路の拡大	P52 ①②
27	知的財産の保護ということで、「徳島」という言葉が使うことができなくなるとか、使うには膨大なお金を払わなければならないということが現実に世界で起こっているの、意匠登録などについては積極的にしていただきたい。	IV 新成長ビジネスの展開	IV-4 新たな技術の開発及び普及	P54 ①～③
28	徳島といえばLEDだが、農林水産関係の計画の中で、LEDを使った農産物を発信するという具体的な施策を見たことがありませんが、何故なのか、どういうお考えなのか聞いてみたい。実際として、LEDいちごやLEDみかんと名付けて、徳島県で作られている物は非常に高値で買われているという実績があるので、他県に遅れを取らないように、研究を含めてピッチを上げてやって欲しい。	IV 新成長ビジネスの展開	IV-4 新たな技術の開発及び普及	P54 ①③
29	生産の安定供給というのは全然図られていない。水研が産卵のデータを多く流すといったことをやっていただきたいと思う。	IV 新成長ビジネスの展開	IV-4 新たな技術の開発及び普及	P54 ④
30	カーボンオフセットについて、これに協力してくれたら森を守れるんですよ、ということをもっと県民に知らせていくべきでないか。	V 次代へつなぐ農山漁村の創造	V-7 多様な主体の協働による農山漁村の保全活動	P68 ⑤⑥